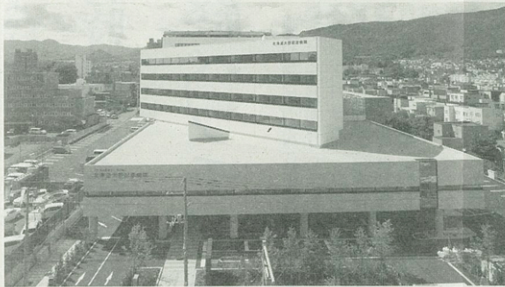


北海道大野記念15日オープン



さまざまな分野の最新機器をそろえた

心臓血管センター、5階臓器ごとに最適な撮像を含めた8室の手術室、18床全て個室のICUなどが占める。3階はSCU、脳卒中センター、脳血管内治療センター、化学療法を整備し、4階は画像診断装置として

1階は、外来診察室のほか生理検査画像診断救急部門や札幌高機能放射線治療センターを設ける。2階は、高度健診センターと18ベッドの透析室、ハイブリッド手術室を併用して、正確で安全な手術につなげる。手術支援で最新のワイヤレスX線、術中に高精細な透視画像が得られるO-arm等も整備する。

新病院の規模は、7万㎡。脳神経外科、心臓血管科、呼吸器内科、糖尿病科、消化器内科、整形外科、婦人科、泌尿器科、腎臓内科、神経内科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、麻酔科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科、リハビリテーション科の21診療科を標榜する。

新病院の規模は、7万㎡。脳神経外科、心臓血管科、呼吸器内科、糖尿病科、消化器内科、整形外科、婦人科、泌尿器科、腎臓内科、神経内科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、麻酔科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科、リハビリテーション科の21診療科を標榜する。

検査から治療まであらゆる分野で、現時点で用意できる最新の設備を整えた。北海道初の3デス手術中MRを導入し、ナビゲーションシステムと併用して、正確で安全な手術につなげる。手術支援で最新のワイヤレスX線、術中に高精細な透視画像が得られるO-arm等も整備する。

極的に設備確保に努め、医師不足が深刻な地域への派遣なども推進していく。

18年夏以降に陽子線治療

国内有数の最新設備

釧路市で釧路孝仁会記念病院などを運営する社会医療法人孝仁会（齋藤孝次理事長）は、西区宮の沢2条1丁目16-1に「北海道大野記念病院」を15日オープンする。院長に大野猛三（心臓血管外科センター）北海道大野病院院長が就任。病床数は276床で、2018年夏以降には陽子線治療を開始する予定だ。

今後は、地下鉄東西線宮の沢駅直結の商業施設内で15年にオープンした札幌西孝仁会クリニックが外来機能を担い、新病院は高度急性期に特化する。

がん治療の最先端装置として、サイバーナイフ、トモセラピーシステムを備え、陽子線治療装置が18年夏に稼働を開始すれば、国内でも有数の放射線治療体制ができていく。

がん治療の最先端装置として、サイバーナイフ、トモセラピーシステムを備え、陽子線治療装置が18年夏に稼働を開始すれば、国内でも有数の放射線治療体制ができていく。